



三島工業団地ニュース

No.3 令和7年6月1日

Vol.47 三島工業団地協同組合

2-1

令和7年度 《全国安全週間》

SLOGAN : 多様な仲間と 築く安全 未来の職場

実施期間 : 令和7年7月1日(火)～7月7日(月)

(準備期間) : 令和6年6月1日(日)～6月30日(月)

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。昭和3年に第1回が実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、本年で第98回を迎えます。

この機会に職場における労働災害防止活動の大切さを再確認し、積極的に安全活動に取り組みましょう。

ゼロ災運動・KY(危険予知)

ゼロ災運動は、人間尊重の理念に基づき全員参加で安全衛生を先取りし一切の労働災害を許さず、ゼロ災害ゼロ疾病を究極の目標に、働く人々全員がそれぞれの立場や持ち場で労働災害防止活動に参加し問題を解決する、いきいきとした職場風土づくりをめざす運動です。

ゼロ災運動 理念3原則

1. ゼロの原則

単に死亡災害・休業災害だけがなければよいという考え方ではなく、職場や作業に潜むすべての危険を発見・把握・解決し、根底から労働災害をゼロにしていくという考え方です。

2. 先取りの原則

究極の目標としてのゼロ災害・ゼロ疾患の職場を実現するために、事故・災害が起こる前に、職場や作業にひそむ危険の芽を摘み取り、安全と健康(労働衛生)を先取りすることです。

3. 参加の原則

職場や作業にひそむ危険を発見・把握・解決するために、全員が一致協力してそれぞれの立場・持ち場で自主的、自発的にヤル気で問題解決行動を実践することをいいます。

ゼロ災運動 推進3本柱

1. トップの経営姿勢

安全衛生は、まずトップのゼロ災害・ゼロ疾病への厳しい経営姿勢に始まる。「働く人一人ひとりが大事だ」「一人もケガ人は出さまい」というトップの人間尊重の決意から運動は出発します。

2. ライン化の徹底

安全衛生を推進するには、管理監督者(ライン)が作業の中に安全衛生を一体に組み込んで、率先垂範して実践することが不可欠です。ラインによる安全衛生管理の徹底が第2の柱です。

3. 職場自主活動の活発化

一人ひとりが危ないことを危ないと気付き、自主的、自発的にヤル気で安全な行動をするような実践活動がなければ、職場の日々の安全を確保することはできません。

三島工業団地ニュース

No.3 令和7年6月1日

Vol.47 三島工業団地協同組合 2-2

新役員のご紹介

令和7年5月22日開催の第61回通常総会および理事会において、任期満了による役員の改選が行われ、次の通り新役員が選出されました。

役 職	氏 名	企 業 名	選 任
理事長	鈴木 隆	三丸機械工業(株)	再 任
副理事長	森田 茂	(有)東栄工業	再 任
副理事長	諏訪部 行生	丸善工業(株)	新 任
理 事	室伏 宏昭	(有)室伏鐵工所	再 任
理 事	兼子 安久	富士精工(株)	再 任
理 事	高橋 進	(有)東鉱金工業所	再 任
理 事	金子 靖	(有)金子電子工業	再 任
理 事	杉本 拓哉	(有)杉本鉄工所	新 任
専務理事	原 要	組合事務局	再 任
監 事	田中 公典	田中産業(株)	再 任
監 事	後藤 和男	(有)後藤超硬	新 任

※ 任期は令和7年度、8年度の2年間です。よろしくお願ひいたします。